

第49回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事要旨

日時:令和4年1月18日(金) 午前10時30分 ~ 午前11時

場所:庁議室

1 開 会

2 議 題

(1)市内の感染状況について

保健医療課長

- ・12月中旬から下旬にかけては、落ち着きを見せていたが、1月の月上旬から新規陽性者数が増大している。
- ・現在の埼玉県内の病床使用率は、30.5%、宿泊療養所の使用率は、42.1%となっている。

(2)まん延防止等重点措置について

保健医療課長

- ・1月17日の1都3県の知事によるオンライン会議で国への要請が協議された。
- ・1月20日、21日頃に県から各市町村へ発出されるのではないかと見込んでいる。

健康推進部長

- ・報道を見ると、県は、ワクチン・検査パッケージを活用するなど、感染対策と経済活動を両立した要請等を検討しているようである。
- ・県から具体的な要請の内容等が示されたら、速やかに全庁に周知する。

(3)自宅療養者支援の状況について

保健医療課長

- ・1/11 から県との協定に基づき自宅療養者に対してパルスオキシメーターの配達を開始したが感染拡大に応じて、配達の要請も増大している。
- ・先行自治体の事例に習って、郵送対応の準備を進めている。
- ・配達を希望する自宅療養者には、必ず市から電話連絡を行い、体調に不安があるなど、速やかな配達を希望があった場合は、職員が配達を行う予定である。

危機管理監

- ・食糧支援について、同様に配達の要請が増大しており、物資の不足が生じている。
- ・緊急で調達しており、所沢市社会福祉協議会に対しても支援の追加を依頼した。
- ・配達は職員が行っているが、状況によっては、他部署応援をお願いする可能性がある。

副市長

- ・職員の陽性者も増えてきている。基本的な感染対策を徹底するのはもちろん、会食は4人以下で行うようにする等、しっかりと対策に留意するように職員へ伝えて欲しい。

(4) ワクチン接種について

健康管理課長

以下のとおり報告を行う。

1 接種状況（1月10日時点、内閣官房 IT 総合戦略室）

○高齢者 1回目 87,894人、2回目 87,562人、3回目 262人
93.93% 93.58% 0.28%

○全体 1回目 276,545人、2回目 274,095人、3回目 2,058人
80.34% 79.63% 0.60%

参考（国）1回目 78.96% 2回目 78.31% 3回目 0.69%

（県）1回目 79.74% 2回目 78.88% 3回目 0.55%

2 3回目接種について

- ・医療従事者の3回目接種は、令和3年12月から開始している。
- ・消防職員については、1月11日から接種を開始している。
- ・1月11日から、2回目接種後7カ月経過した方に接種券を送付、届き次第予約し接種可能。

3 集団接種について

- ・1月は、保健センターで週3回（木、土、日曜の午前・午後）
- ・2月以降は、保健センターで週5回（火、水、木、土、日曜の午前・午後）

2月以降の保健センターでの集団接種は、モデルナ社製ワクチンを接種

4 その他

- ・1月14日（金）より、狭山保健所に保健師（2名体制）を派遣。（積極的疫学調査を実施）

更なる前倒し接種について

接種券の前倒し発送

令和4年1月13日付厚生労働省通知により、以下が示された。

高齢者：2回目接種完了から6か月以上経過後、3回目の接種を実施するよう努めること。

3月以降開始とするが、できる限り3月より前に開始すること。

一般の者：2回目接種完了から7ヶ月以上経過後、3回目接種を実施するよう努めること。

3月以降開始とするが、できる限り3月より前に実施すること。

6か月以上経過していれば、7か月未満で接種しても間違い接種とはならない。

ワクチン供給見込み

1月末までに使用できるファイザーワクチンは約58,000回分。（本来2月末まで使用予定）

1月末に届く（2月に使用できる）モデルナ約78,000回分 接種体制は、月40,000回

2月下旬にファイザー約25,000回分納入予定 3月使用分

(5) その他

市民医療センター事務部長

- ・職場調査に伴う濃厚接触者(接触者含む)のPCR検査については、全力を挙げて対応しているが、検査数の増大により検査キットの不足が生じている。
- ・できる限り対応は継続したいが、状況によっては引き受けられない場合もあるのでご承知おきいただきたい。

総務部長

- ・濃厚接触者の待機期間が14日から10日に短縮されたので全庁に周知する。
- ・オミクロン株の特性により、黙食であっても隣で昼食を取っただけでも濃厚接触者として判断される場合がある。業務継続の観点から、席次の変更など、人と人との物理的な接触を減らすための対応を検討していただきたい。

市民部長

- ・まちづくりセンター等においては、冬場ではあるが適切な換気を徹底するように、注意喚起を行っている。

副市長

- ・テレワークやサテライトオフィスについても積極的に活用してほしい。

次回会議予定

未定

3 閉会